



「カエルも温泉に行くの？」(2歳児クラスでの会話)

(前日まで飼っていたおたまじゃくしが突然いなくなった小さいケースを見て)
 保育士「あらーどうしていないの？」
 A子「本当だ、どこにいったんだろ。」
 B男「おやまにいったのかなあ」
 C子「ピクニックかな〜。」
 D男「あー、大きいお風呂にいったんでねーが。大きいお風呂は気持ちいいも〜。」
 (前日、大きい温泉に行ってきたばかりでした。)

vol.4

くらしの
197
知識

●悪質な催眠商法に注意!

「町内外」で被害が報告されています

【事案】

最近、日用雑貨やラジオを無料で配布するための商品引換券を配布して人を集め、温熱治療器などを高額な値段で販売する業者が町内外で報告されています。

最初は、ティッシュ箱やまな板などを路上で配布し、「次は包丁セットを配布したいが、包丁は刃物で危険なため、路上では配布できないので家を貸してください。」などと巧みに個人宅を借用しています。その後、個人宅内でラジオや扇風機等を配布してから、高額な温熱治療器を契約させる流れです。

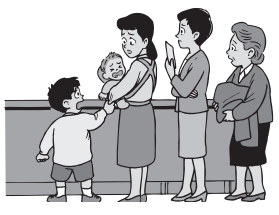
無料で配布される生活雑貨をもらってしまい、高額な商品の購入を断りにくくしたり、会場の雰囲気の中で必要性をよく検討しないまま契約してしまふところが催眠商法

の特徴です。

【対応】

会場がなければ業者は営業活動を行うことはできないので、安易に自宅や倉庫、庭先などを貸さないように注意してください。

契約した後でも商品が不要なら、契約から8日以内であれば、クーリング・オフ手続きにより解約が可能です。8日を経過していた場合でも、勧誘方法などに問題があれば、交渉を行い解約できる可能性があります。



■問い合わせ

町民課くらし環境係
☎ 85-6131

町報川柳 「カルテ」

高橋 白兔 選

- | | | | | |
|------------------------|---------------|--------|-----|-----|
| 佳作 | 定検でカルテの前で異状なし | 藤 沢 | 田 苗 | 創 真 |
| カルテとは患者に見せぬ医者のもの | 崎 玉 | 村 上 | 桂 造 | |
| 腰曲げてカルテ片手に検査室 | 佐野原 | 五十嵐とし | | |
| 温暖化そんなカルテに病む地球 | 荒砥乙 | 土谷 灯一 | | |
| 我が家のカルテを見れば金不足 | 滝 野 | 海老名達夫 | | |
| 近頃は電子カルテに記録する | 荒砥甲 | 本間 義康 | | |
| 病院のカルテに秘密隠される | 山 口 | 児 玉 保子 | | |
| 手にカルテ矢印歩く大病院 | 荒砥甲 | 鈴木みき子 | | |
| 四人部屋他人のカルテ見たくなる | 神奈川 | 井 上 秀雄 | | |
| カルテ診る医者顔色俺が見る | 畔 藤 | 堀 内 芳夫 | | |
| 歳と共カルテの数が増えて行く | 佐野原 | 竹 田 正子 | | |
| カルテなど用の無い身が羨まし | 浅 立 | 高 橋 とみ | | |
| カルテ見た医者言葉にホツとする | 西高玉 | 金 田 コト | | |
| 読めもせぬカルテの中身気にかかる | 荒砥乙 | 大 滝 栄子 | | |
| カルテなど知らず過ぎせた幸せよ | 世田谷 | 遠 藤 八重 | | |
| カルテ診る名医の仕草気にかかる | 貝 生 | 保 科 努 | | |
| 大手術十年前のカルテ持つ | 高 岡 | 横 沢 直太 | | |
| なんと読むカルテに潜む謎の文字 | 高 岡 | 安 部 柳子 | | |
| カルテにも書けない話聞いてやり | 十 王 | 鈴 木 しげ | | |
| 明日の夢たち切るカルテ内緒事 | 山 口 | 石川与次衛門 | | |
| よく聞いてくれる主治医でカルテ知る | 十 王 | 守 谷 三郎 | | |
| 農カルテ昔増産今古々米 | 横田尻 | 金 田 れん | | |
| カルテにも書けない老化忍び寄る | 浅 立 | 小 形 義三 | | |
| カルテより主治医の言葉ありがとう | 佐野原 | 五十嵐あきよ | | |
| 今までの生きたカルテは日記帳 | 荒砥甲 | 井澤芙佐子 | | |
| 我がカルテ笑えた日々を書き記す | 浅 立 | 梅津美千子 | | |
| ドクターのカルテ横文字気にかかる | 山 口 | 渡部喜美子 | | |
| カルテとは無縁八十路の気の病 | 大 瀬 | 五十公野春巳 | | |
| 婚活のカルテを運ぶ青い鳥 | 高 岡 | 須 貝 仲次 | | |
| 人生のカルテ罰なし賞もなし | 畔 藤 | 菅 原 敦子 | | |
| 軸 カルテにはゲームセットと書かせない | 白 兔 | | | |
| 次回 「鈴」九月末まで。「隣」十月末日まで。 | 高橋 白兔 宛 | | | |
| はがきに三句 白鷹町荒砥乙四二八一二 | | | | |

■おわび：前号「祈る」の秀句3「親祈る地に足つけた子になれと」は、梅津美千子さんの作品でした。訂正させていただきます。